

## 別紙様式 1

## 令和 5 年度 総合的な探究の時間 年間指導計画

校番 24 番 賀茂 高等学校 全日制 課程 本校 学科 普通科  
 実施学年 第 1 学年

名称	GAP (ギャップ) Glocal Action Program
目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、「自分の生活と地域の人々や事象とのかかわり」や「学問と自己の進路」について探究することを通して、自己の在り方生き方を考えながら、仮説を立て、調査を通して得られた情報を分析し、論理的に結論を導く考え方を身に付けていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、情報収集や整理・分析の方法など、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 「地域課題」や「学問・進路」と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析するとともに、論理的にまとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 旺盛な知的的好奇心と向上心を持ち、探究に主体的に取り組むとともに、「信・敬・愛」の校是に基づいて他者と協働しながら、新たな価値を創造し、よりよい未来に貢献しようとする態度を養う。</p>
内容	<p>目標を実現するにふさわしい探究課題          地域産業や私たちの生活と密接に関わる環境保護</p>
	<p>探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力  <b>【知識及び技能】</b>          「知識」「技能」「探究の意義や価値の理解」  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          「自己理解・他者理解」「主体性・協働性」「将来展望・社会参画」</p>
	<p>ねらい・学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○探究基礎スキル習得プロジェクト（1 学期）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内でのグループワーク等を通して課題探究に必要な知識・技能を身に付ける。</li> <li>・2 学期以降に探究する東広島市の課題を設定する。</li> </ul> </li> <li>○東広島環境保護ポスタープロジェクト（2・3 学期）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 学期に身に付けた探究スキルを用いて、東広島市の課題解決に向けた探究を行う。</li> <li>・探究の成果をスライドで発表する。</li> </ul> </li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の観察・授業内で作成した作品・プレゼンテーション・レポートなどに対して、観点に応じた評価規準のルーブリックを設け、どのような力がついたかを捉えられるようにする。</li> <li>・評価の内容を、生徒が自身の学習を自己調整したり、教員が指導の効果を把握したりするのに活用できるよう留意する。</li> </ul>
付与する 単位数	1 単位
教材の 使用等	『学びの技 14 歳からの探究・論文・プレゼンテーション』（玉川大学出版部）
指導 体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究部を中心に教育内容を企画・実施する。</li> <li>・教育研究部・学年会により、全体指導・HR 単位での指導を実施する。</li> <li>・外部講師による講演会を実施し、地域に関わる人々からリアリティのある情報が聞けるようにする。</li> </ul>

探究課題	単元	月	探究の過程	ねらい・学習活動	時数	学習形態(場所)	各教科・特別活動等との関連・指導上の留意点等
地域産業や私たちの生活と密接に関わる環境保護	1. 探究基礎スキル習得プロジェクト	4	設定	<b>オリエンテーション</b> 総合的な探究の時間（GAP）で目指す資質・能力や、今後の計画について理解する。また、賀茂高校で自身が身に付けたい力を言語化する。	3	全体	環境問題をテーマとしているため、理科、地理歴史科、公民科、及び家庭科で学んだ内容との関連を図る。
			設定	<b>課題発見①（東広島市役所講演会）</b> 東広島市役所から講師を呼び、東広島市のリソースや課題意識、今後の都市計画について学ぶ。今後の地域課題研究のヒントを見つける。	1	全体	環境問題をテーマとしているため、理科、地理歴史科、公民科、及び家庭科で学んだ内容との関連を図る。
		5	収集・発表	<b>探究基礎スキル①（大人に教えようSNS）</b> 大人（教員）にSNSの種類や特徴を伝える授業を実施する。授業の準備・発表を通して、今後の探究に必要なスキル（マッピング・合意形成・調査・資料作成・発表）を身に付ける。	4	グループ	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。
			設定	<b>探究基礎スキル②（青年会議所への「質問づくり」）</b> 東広島市青年会議所から講師を呼んで、職業選択・進路選択についての講演会を行う。講演会で質問ができるように、「問い」の種類や性質について学ぶ。	2	グループ	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。 【評価】講演会に向けた3つの質問：理解を深めるための質問を作る
		6	収集・整理・分析	<b>探究基礎スキル③（アンケートで文化祭のクラス企画を決めよう）</b> 文化祭のクラス企画の準備として、文化祭にまつわる希望について、クラスメイトにアンケート調査を行う。調査を通じて、探究に必要なスキル（アンケート作成・KJ法による整理分析）を身に付ける。	4	グループ	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。
			収集	<b>課題発見②（山水機構講演会）</b> 「西条・山と水の環境機構」から講師を呼び、地元龍王山の環境と西条の酒造りの関係について学ぶ。地域の自然環境を守ることの重要性を理解する。	2	全体	環境問題をテーマとしているため、理科、地理歴史科、公民科、及び家庭科で学んだ内容との関連を図る。
		7	整理・分析・まとめ・表現	<b>1学期振り返り</b> 1学期の学習内容を振り返り、身に付けた「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」について言語化する。	1	個人学習	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。 【評価】振り返り：根拠を挙げて身に付けた能力や今後の課題を述べる

探究課題	単元	月	探究の過程	ねらい・学習活動	時数	学習形態(場所)	各教科・特別活動等との関連・指導上の留意点等
地域産業や私たちの生活と密接に関わる環境保護	2. 東広島環境保護プロジェクト	9	設定	<b>2・3学期の学習内容を知ろう</b> 2・3学期に「環境保護について他者の行動を促すポスターを作成すること」を理解する。インターネットを用いて、世の中にあるポスターから「効果的な伝え方」を分析し、グループで意見を交換する。	1	グループ	環境問題をテーマとしているため、理科、地理歴史科、公民科、及び家庭科で学んだ内容との関連を図る。
			収集	<b>情報収集（ポスターの内容を考えよう）</b> 客観的なデータをもとに、「〇〇が～すれば東広島市の環境がよりよくなる」という仮説を立てる。その過程で、生徒は探究活動に必要な情報リテラシー（信頼のおける情報源・引用と出典明記）を身に付ける。	4	個人	環境問題をテーマとしているため、理科、地理歴史科、公民科、及び家庭科で学んだ内容との関連を図る。 【評価】仮説設定ワークシート：信頼できる情報源/論理的整合性/引用
		10・11	まとめ	<b>表現（「Canva」を使ってポスターをデザインしよう）</b> デザインアプリの「Canva」を用いて、人の行動を促すポスターをデザインする。	3	個人	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。
		12	収集・分析	<b>整理・分析（フィードバックをもとに、ポスターを改良しよう）</b> 作成したポスターは、校内・校外に貼り出し、改善のためのフィードバック（感想）をもらう。生徒は、1学期に学習した「KJ法」を用いてフィードバックを分析し、自身の作成したポスターを改良する。	4	グループ	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。 【評価】ポスター改良：フィードバックから何を読み取り、どのように改善したか
		1・2	まとめ・発表	<b>探究の成果を発表しよう。</b> 2学期に探究した内容（何を根拠に、どのような仮説を立ててポスターを作ったか。また、フィードバックを分析し、ポスターにどのような改良を施したか）をスライドにまとめ、発表する。	5	クラス	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。 【評価】プレゼンテーション：論理的整合性/まとめと発表のスキル
		3	まとめ	<b>1年の成果を振り返ろう。</b> 1年間の学習内容を振り返り、身に付けた「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」について言語化する。	1	個人	表現する場面では、国語科、情報科、芸術科及び外国語科との関連を図り、相手や目的に応じて論理的に表現できるようにする。 【評価】振り返り：根拠を挙げて身に付けた能力や今後の課題を述べる
備考			<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期の単元「探究基礎スキル習得プロジェクト」は、必要に応じて修学旅行の内容と関連付けながら行う。</li> <li>ポスターなどの成果物は、公園など関係のある場所に掲示するなど、学びが実際の社会とつながるように工夫する。</li> </ul>				